

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について

三重県教育委員会

令和元年11月

本年度の全国学力・学習状況調査の「教科に関する調査」の結果は、小中学校合わせた5教科中4教科（小学校国語・算数、中学校数学・英語）で全国の平均正答率以上となりました。また、平均無解答率は、全教科で全国より良好な水準となりました。こうした子どもたちの頑張りや粘り強さは、「児童生徒質問紙調査」の「最後まで解答を書こうと努力した」等の質問に肯定的に回答した子どもの割合が、調査開始以来最も高かったことにも表れています。

今回の結果は、学校における「できなかったことをできるようにする取組」や教職員の子ども一人ひとりの学びに寄り添ったきめ細かな指導、家庭での生活習慣に向けた取組、地域による学習支援等、学校・家庭・地域が連携し取組を粘り強く積み重ねてきたことによるものと考えています。

一方、本県の経年的な課題である「書かれている内容を理解しイメージする力」「根拠に基づいて自分の考えを書く力」等については、十分な改善に至っていません。

今後、各学校においては、今回の成果と課題を共有し、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善や「できなかったことをできるようにする取組」の定着を図り、学校全体で学力向上の取組を進めていくことが大切です。また、家庭・地域においては、引き続き課題である生活習慣・学習習慣・読書習慣の改善に向けた取組を広げていくことが大切です。

子どもたちの学力が向上することは、自己肯定感やチャレンジする力を高め、将来の夢を実現するための可能性や選択肢を広げることに繋がります。子どもたちが「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感しながら、自らの希望と未来を支える確かな学力を身に付けられるよう、「子どもたちの笑顔のために」という強い思いで、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取組を進めてまいりますので、引き続き、県民の皆様方の御理解・御協力をよろしくお願いします。

～全ては「子どもたちの笑顔」のために～

※調査結果の取扱いについては、文部科学省が示す実施要領における「8（5）調査結果の取扱いに関する配慮事項」をご覧ください。

（P.46 に抜粋して掲載しています。）